

「日本人」の境界



[「日本人」の境界 下载链接1](#)

著者:小熊 英二

出版者:新曜社

出版时间:1998

装帧:Unknown Binding

isbn:9784788506480

沖縄・アイヌ・台湾・朝鮮という、近代日本が時に日本人とし時に非日本人としてき

た人々をめぐる政策と言説の揺らぎを詳細に検討して、この問いを追求する。国家とは何か、国民とは何かを真剣に考えようとする人々に必読の書。

作者紹介:

目録: 序章

「日本人」の境界変動／「日本」と「植民地」、そして「欧米」／「包摶」と「排除」／「政治の言葉」と「表現されえないもの」

Ⅰ 第1章 琉球処分一「日本人」への編入

「国内に人類」への統合と排除／外国人顧問の提言／「日本人」としての琉球人／歴史をめぐる争い

第2章 沖縄教育と「日本人」化一同一化教育の論理

旧慣維持と忠誠心育成／「文明化」と「日本化」／歴史観の改造

第3章 「帝国の北門」の人びと—アイヌ教育と北海道旧土人保護法

国境紛争から「日本人」へ／〈日本人の住む土地〉／宣教師の脅威／「漸化」という論理／北海道旧土人保護法の成立

第4章 台湾領有一同一化教育をめぐる葛藤

台湾統治の混迷／外国人顧問の同一化反対論／「殖民地」か「非殖民地」か／国防重視論と対欧米意識／「日本人」化教育の開始／巻き返す非同一化論／「漸進」という折衷形態

第5章 総督府王国の誕生—台湾「六三法問題」と旧慣調査

〈事実上の立法権〉／〈台湾自治王国〉構想／折衷としての「法律でない法律」／議会側の反発／「日本人」の意味／後藤新平の台湾王国化／根拠不明の独裁支配

第6章 韓国人たりし日本人一日韓併合と「新日本人」の戸籍

踏襲された折衷案／「漸進主義」の教育／国籍における排除と包摶／同一化言説の完成

Ⅱ

第7章 差別即平等—植民地政策学と人種主義

フランス同一化主義と啓蒙思想／ル・ボンと同一化主義批判の台頭／「生物学の原則」／「自治」と「離隔」／「自主」のジレンマ／二つの差別の間

第8章 「民権」と「一視同仁」—植民地と通婚問題

「一視同仁」の高唱／「植民者民権」の出現／通婚と「日本人」

第9章 柳は翠、花は紅—日経移民問題と朝鮮統治論

錯綜する論壇の統治批判／デモクラットの文明的同一化主義／大アジア主義者の分化多元主義／自由主義者の分離主義／「民族問題」隘路

第10章 内地延長主義—原敬と台湾

文明化としての「日本人」／「日本」編入のモデル／総督府の抵抗と「漸進」／頓挫した統治改革

第11章 統治改革の挫折—朝鮮参政権問題

総督府による統治改革／自治か参政権か／〈総督府の自治〉の浮上

Ⅲ

第12章 沖縄ナショナリズムの創造—伊波晋猷と沖縄学

沖縄にとっての同一化／二重のマイナリティ／防壁としての同祖論／沖縄ナショナリズムと同祖／排除と同化の連鎖／啓蒙知識人として／挫折した沖縄ナショナリズム

第13章 「異身同体」の夢—台湾自治議会設置請願運動

権利獲得としての「同一化」／多様性への願望／植民政策学の読み換え／キリスト教徒とアジア主義者／多元的な日本、多元的な台湾／「憲法違反」の限界／引き裂かれた請願運動

第14章 「朝鮮生まれの日本人」—唯一の朝鮮人衆議院議員・朴春琴

「日本人」としての権利／内地在住朝鮮人の参政権／「我等の国家」への屈折／「一視同仁」の壁／虚像の「日本人」

第15章 オリエンタリズムの屈折—柳宗悦と沖縄言語論争

オリエンタリズムとしての「民芸」／沖縄側の猛反発／「西洋人」としての方言擁護／「日本人」の強調／沖縄同化の最終段階

第16章 皇民化と「日本人」—総力戦体制と「民族」
「朝鮮」の否定／民族概念の相対化／平等と近代化の期待

第17章 最後の改革—敗戦直前の参政権付与
境界を搖るがす三要因／遺跡問題の浮上／超えられなかった臨界／「日本人」という牢獄

IV

第18章 境界上の島々—「外国」になった沖縄
「少数民族」としての沖縄人／「琉球総督府」の誕生／「アメリカ人」からの排除／「日本人」であって「日本人」でない存在

第19章 独立論から復帰論へ—敗戦直後の沖縄帰属論争
沖縄独立論とアメリカ観／保守系運動としての復帰／帰属論議の急浮上／揺らぎの中の帰属論

第20章 「祖国日本」の意味—一九五〇年代の復帰運動
人権の代名詞としての「日本人」／親米反共を掲げた復帰運動／日本ナショナリズムの言葉

第21章 革新ナショナリズムの思想—戦後知識人の「日本人」像と沖縄
「アジアの植民地」としての日本／「健全なナショナリズムの臨界」／单一民族史観の台頭／「植民地支配」から「民族統一」へ／民族統一としての琉球処分／非難用語となった「琉球独立論」

第22章 一九六〇年代の方言札—戦後沖縄教育と復帰運動
復興活動としての復帰／方言札の復活／「日の丸」「君が代」の奨励／憧れと拒絶の同居／「祖国は日本か」／政治変動と転換と

第23章 反復帰—一九七二年復帰と反復帰論
琉球独立論の系譜／復帰の現実化／「仮面」への嫌悪／独立論との距離／「否」の思想

結論
後発帝国主義としての特徴／国民国家における包摂／公定ナショナリズム／「脱亜」と「興亜」／分類外の曖昧さ／被支配者の反応／有色の帝国

あとがき
・・・・・ (收起)

[「日本人」の境界 下载链接1](#)

标签

日本

历史

民族论

身份

殖民

朝鲜半岛

日本史

图书馆

评论

[「日本人」の境界 下载链接1](#)

书评

[「日本人」の境界 下载链接1](#)